



ハツ場ダム

目次

contents

平成30年度第44期通常総会開催される	2～3
平成30年度品質管理監査について	3～4
役員視察研修に参加して	4
北から南から	5
事務局だより	6
編集後記	6

企業の社会的責任体制の

堅持と品質管理技術の向上

— 生コンの品質確保と生産性の向上を図る —

当工業組合の第四十四期通常総会は、去る五月二十九日(火)長野市内において開催された。

総会では綱領斉唱のあと、はじめに山浦理事長からあいさつ(要旨)があった。

冒頭、年々出荷量が減少する中、コンクリートの品質を確保したうえで生産性の向上が業界にとつて大きな課題であり、日進月歩する新しい製造技術に挑戦し、良質の商品をユーザーに提供していくことが業界の使命である。

また、生コンの出荷量も昨年度は一二五万㎡と組合設立以来最低の出荷量となった。今年度は、生コンの需要拡大が最重要課題と位置づけ、砂防堰堤の工法見直し等、

組合員が一丸となって国・県をはじめとする発注機関に対し積極的に需要拡大に向けての要請活動が必要であると総括した。

製品については、国に於いては昨年三月から、県においては本年四月から、其々現場における施工性を高めるため、スランプ8cmから12cmと流動性を高めたコンクリートの活用方法が示された。

業界としてはお客様に迷惑をかけるないように、サービスと品質の向上に一層努めていかなければならない、そのためには健全な企業経営となるよう努力をしていただきたい。

また、従業員の高齢化、技術の承継、生産設備の老朽化など多く



の課題を抱えている、これらの課題に果敢に取り組むことにより、社員の生活を支え、社会的使命を果たしていくためには、協組共販の原点に立ち返って行動していくことが必要であると力強く結んだ。その後、同理事長が議長となり議事が進められた。

平成二十九年度事業報告及び同決算が承認され、平成三十年事業計画、同予算、賦課金の額及びその徴収方法、役員報酬の最高限度額について、原案通り承認された。



続いて、長野県警察本部と山浦理事長の連名による、十五年間無事故・無違反者(別記)に対する顕彰が行われた。

ご出席いただいた来賓を代表して、吉田博美参議院議員の長田透政策秘書、鈴木清長野県議会議長、長谷川朋弘長野県建設部長の代理として臼田敦建設技監からそれぞれ力強い励ましのご祝辞をいただき閉会となった。



その後開催された祝賀会では、服部宏昭長野県議会議員のあいさつ、高見澤秀茂長野県砂利砕石業協会理事長の発声により乾杯が行われ、終始和やかに祝賀会が執り行われ一切の総会行事が終了となった。

●十五年以上無事故・無違反優良運転者
(県警交通部長・工組理事長連名表彰)

上原 照雄 (上伊那支部)
(坂本屋生コン株)

林 鉄也 (上伊那支部)
(㈱大和興業)

平成三十年 品質管理監査について

品質管理監査について

長野県生コンクリート品質管理監査会議 事務局

平成三十年度品質管理監査会議が去る四月九日に開催され、本年度の監査計画が原案通り承認されました。工場立入り検査及び査察は五月八日からすでに開始されていますが、計画では、監査は七一工場七二プラント、査察は八工場六の予定としていきます。監査計画がスムーズに遂行されますよう、支部及び工場のご協力をよろしくお願いたします。

平成三十年度品質管理監査の方針は前年度と同様に「指導要望事項の早期改善と、呼び強度比の低減」及び、「品質管理に対する意識の向上」とし、具体的な施策を三項目としています。報告会及び品質管理責任者講習会などで報告した通り、昨年度は指導要望事項



の是正率が未達成でしたので、この目標値は前年度と同様としていきますが、指導要望事項については、目標値を達成しましたので、本年度の目標をより高く設定していきいます。具体的な目標値として、指導要



望事項の削減については、是正報告0件、指導要望事項六〇件以下とし、前年度指摘事項の是正率を九七%以上としています。改善計画の報告については一か月以内に行うこととし、期限厳守としています。また、呼び強度比の低減については、平均値の目標値を1・30、1・50を超える工場を0としています。品質管理意識の向上として行う教育記録を基にした調査は、品質管理責任者講習会において、各工場が表明した、取り組む内容を確



認するとともに、本年度監査委員会議で、新たに作成した質問事項を各担当者へ行うこととしています。査察は従来通り、工場選定を議長・副議長が行い、実施当日の八時に通知することとしております。監査及び査察要領の変更に伴い、不適合の評価を受けた工場の取組が変更になっていきますので、再度ご確認をお願いいたします。当日は、査察実施に当たり事前打ち合わせを行いますので、十全な対応と、ご協力をお願いいたします。

役員視察研修に参加して



平成二十九年九月十二日～九月十三日に、群馬県八ッ場ダムの役員視察研修を開催しました。

大型ダム建設の現場は人生のうちでそう何度も見られる光景でもなく、ましてや長野県の近県で見られる回数も今後は殆どないので、だから、建設が終わるまでの間にしか見られない貴重な景色です。

さて、現場の感想としては、工事している音の凄まじさや、規模や什器の大きさ、すべてが非日常的で迫力があり怖いくらいでした。あと一年、二年でこの下は湖になるのですから凄いです！

また、景色も素晴らしく、夏は山の緑が映え、秋になれば紅葉を

向かえ、色づいた山々の景色と八ッ場ダムの姿が楽しめます。コンクリート打設が完了する頃（今度は別の季節に）もう一度は行きたいです。ダムカレーも食べ損ねましたし…。

なお、平成三十年七月現在の状況としては、ダム上部のコンクリート通路造りまで打設が到達し、夜間作業はライトの光に照らされてとても幻想的だそうです。

（事務局M）



群馬県八ッ場ダムとは

利根川の主要な支流である吾妻川中流部、群馬県吾妻郡長野原町川原湯地先に建設が進められている多目的ダムで、完成は平成三十一年度を目標としている。完成すれば神奈川県を除く関東一都五県の水がめとしては九番目のダムとなる。形式は重力式コンクリートダムで高さは一一六m。また、事業費においては、二度の計画変更等を行い日本のダムの歴史上最も高額なダム計画とされている。

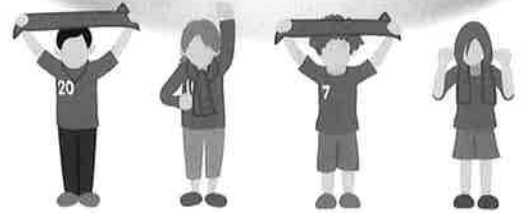
協組の話題

北から

南から

さあ、行こうぜ緑の友よ

大北生コン事業協同組合 金原修一



県内を含む関東甲信地方が六月二十九日に梅雨明けとなりました。

六月に梅雨明けするのは昭和二十六年の統計開始以降初めてだそうです。梅雨明けが早い分、今年の夏は例年にも増してより一層、ガツンとくる暑さになる心配がひしひしと漂ってきています。

さて、今はワールドカップ・ロシア大会真っ最中でありまして、この「なまこん信州七十六号」が発行される頃には優勝国が決定しているでしょうが、今、これを書いている段階では決勝トーナメント中で、あのメッシが去り、C・

ロナウドが涙し、無敵艦隊スペイン号が沈没してしまうという波乱に満ちた激闘が連日繰り広げられています。

そして、もう一つ、サッカーと云えば松本山雅FC。当組合のある大町市も松本山雅FCのホームタウンになっていますので、市全体で山雅を盛り立てようという機運が非常に高まっています。街の通りには緑のフラッグが飾られ、いたるところにポスターが貼られ、松本山雅というチームがごく身近な存在として感じることが出来ます。

そして、何といっても一番の魅力はサポーター同士の横の繋がりでしようか。実際にアルウィンに足を運ばれた方はご存知かと思いますが、足を踏み入れた瞬間、緑色に染まった圧力と地響きのような歓声に包み込まれる感覚を体験できます。これも全て熱いサポーター魂のなせる業。緑のユニフォームを着れば即山雅サポーターの仲間入りです。たとえ一人で観戦に行ったとしても、帰る頃には緑の仲間が出来ていること請け合いです。

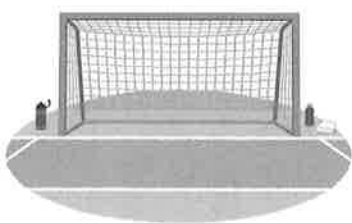
とは言え、私も山雅サポーター歴はまだ4年数ヶ月と短く、地域リーグ時代からのコアなサポーターの皆さんからすれば新参者の類に入るとは思いますが、いざアルウィンに行けば見知った顔の方々がたくさん多いことか！近所のおじさんや何十年も会っていないかった知人、とりわけ仕事上でお世話になっっている現場の方々等にかかなり確率で遭遇します。

後日、仕事で現場に向いた際は、まずは試合の反省会から始ま

ります。ゲームの結果や内容はもちろん、山雅グッズやスタジアムグルメの事まで話題はてんこ盛りです。普段、現場では厳しい表情しか見せたことの無かった人が山雅の話を始めた途端、満面の笑顔になるとは！業務上の付き合いしか無かった人と山雅の事だけで仲間になれるとは！まさに、恐るべし山雅パワーといったところでしようか。

いずれにしても単なるサッカーチームという枠を超えて、地域住民の生活に密着した唯一無二の存在になっていることは間違いないです。そんな山雅の事を今日も現場の人達と語りながら週末の試合に思いを馳せる、そんな贅沢な時間を送れる事に感謝します。

ありがとうございます
う松本山雅FC！負けなくても応援するけど、出来れば来年J1に行つてね。



事務局 だより

活動報告・予定

自：平成30年4月
至：平成30年8月

平成30年度

- 4月9日
第一回監査員会議
- 4月20日
第一回品質管理監査会議
- 4月20日
第一回技術委員会、
協組技術委員長・部会長合同会議
- 4月20日
化学物質による
リスクアセスメントに関する研修会
- 4月23日
第一回正副理事長会議
会計監査
- 4月25日
品質管理監査研修会
- 5月14日
第二回正副理事長会議
- 5月14日
第一回理事会
- 5月29日
第二回正副理事長会議
- 5月29日
第二回理事会
- 協同組合連合会第一十九期通常総会
- 工業組合第四十四期通常総会
- 6月9日
第二十三回GN技術勉強会in長野
- 7月4日
第一回労働安全衛生委員会会議
研修会 大宝労働安全研究所
「働き方改革の概要について」
- 7月9日
第四回正副理事長会議
- 7月23日
第二回監査員会議
- 7月23日
第二回技術委員会、
協組技術委員長・部会長合同会議
- 8月7日
第二回品質管理監査会議
- 8月10日
長野県建設部長への要請
- 8月28日
第三回理事会

長野県建設産業 団体連合会会長表彰

建産連の第三十七回通常総会に
おいて受賞されました。

北信生コン協同組合

中村俊彦様

編集後記

自己紹介

5月より工業組合事務局の一員となりました、松澤弘子と申します。

今まで生活に身近な存在でありながら、全く意識する事なかった生コンクリートの世界。事務局の諸先輩方からとても親切、丁寧に教えて頂いているにも関わらず、言葉一つとっても初めての事ばかり。固くなってしまう私の頭にはなかなかすんなりとは入ってきにくれず、ミスも多く大変心苦しく思っている今日この頃。一日も早くスムーズな業務を行えるよう努力いたします。

三月まで北アルプスの麓、白馬村で生活しておりましたが、子供の進学に伴い長野市での生活を始めました。ここで自然豊かな白馬村の紹介をさせていただきます。毎日生活して見慣れた景色となっても、その美しさには息をのむものがあります。

特に真冬の晴れた朝の北アルプスは最高です。幸せを感じます。芽吹きの頃、新緑、紅葉。四季それぞれの美しさを身近に感じることが出来る場所です。白馬と言えばスキーや登山をイメージされると思いますが、他にも楽しめる場所はたくさんあります。最近では自転車で遊ぶ環境が整備されてきました。北アルプスの涼風を感じながらのサイクリング。ロード自転車で風を切って走る爽快感は格別です。

また、マウンテンバイクでスキー場に現れるダウンヒルコースや、10km以上ある里山遊歩道「きこりの道」を走るのもお勧めです。他にも、パラグライダー、ラフティングやシャワーウオーキング等々。大自然ならではの遊びがいっぱい。自然との戯れに、是非一度足を運んでみてください。

これからは、長野市近郊の散歩も楽しみつつ、まずは頭の柔軟体操。皆様から安心して任せていただける事務局員目指して頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。